

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-20-543
基本事業：	03	異文化理解の推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	国際交流が推進されていると思う市民の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
本市及び近郊在住の外国人		学習者（様々な国の外国人）に対応したプログラム（カリキュラム）を基本に、スタッフ（ボランティア）による日本語の学習を進める。 事業概要 開催日時：毎週火曜日10時から12時まで。 （第5週火曜日、祝日、年末年始、お盆を除く） 開催場所：生涯学習センター視聴覚室 定員：20人/1回 利用料金：100円/1回 方法：マンツーマンを基本				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
本市及び近郊で暮らしている外国人が、日常生活を営むうえで必要な日本語力を習得するとともに、日本語教室を通じて地域のひととの交流、対話を重ねることで相互理解を深め、すべての人にとって暮らしやすいまちとなることを目的とする。						

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
にほんご教室が役に立ったと回答した受講者の割合	%	100	100	100	100			100	
平均受講者数	人	5	9	10	10			10	

5. コスト									
事業費	計	千円	39	39	40	62			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	39	39	40	62				
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費	千円	792	773	782					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	831	812	822	62				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	市ホームページ、広報、パンフレットの設置、市民課前ロビーモニターでの教室案内などにより、日本語を学びたい外国人学習者の掘り起こしにつながった。例年、日本語を教えるだけでなく、教材を通じて日本の風習を伝えたり、七夕やお花見などの季節イベントを実施し、外国人の日本や本市への理解が進む学習を行っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になることがなく、ほぼ計画通りの回数（39回）を実施することができた。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	令和3年度に日本語教室ボランティア入門を文化講座で実施したところ、令和4年度はボランティアスタッフが新たに8人増えた。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性					維持	見直し	廃止	事業終了	

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
成果指標を日本語学習の開催回数から、学習者等へのアンケートによる満足度に変更する。					令和4年度から成果指標を「にほんご教室が役に立ったと回答した受講者の割合」に変更。				

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
本市及び近郊在住の外国人の増加に伴い、日常生活等に欠かせない日本語習得のニーズが予想されるとともに、日本語を教えるスタッフ（ボランティア）の確保ができたことから、開設の運びとなった。（平成25年4月開設）					対応するスタッフ数から、1回の学習者（外国人）数を20名を限度とし、学習生の登録制度により、スムーズな教室運営を行っている。				